

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2001-343910 (P2001-343910A)  
 【公開日】平成 13 年 12 月 14 日 (2001.12.14)  
 【出願番号】特願 2000-161398 (P2000-161398)  
 【国際特許分類】

**G 0 9 F 9/30 (2006.01)**  
**G 0 2 F 1/1333 (2006.01)**  
**G 0 2 F 1/1345 (2006.01)**  
**G 0 4 G 9/00 (2006.01)**  
**G 0 4 G 9/06 (2006.01)**  
**G 0 9 F 9/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z  
 G 0 2 F 1/1333  
 G 0 2 F 1/1345  
 G 0 4 G 9/00 3 0 1 Z  
 G 0 4 G 9/06  
 G 0 9 F 9/00 3 4 6 Z  
 G 0 9 F 9/00 3 6 2

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 2 月 14 日 (2007.2.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の電極を有する第 1 の基板と、第 2 の電極を有する第 2 の基板と、第 1 の基板と第 2 の基板は所定の間隙を設けて対向し、第 1 の基板と第 2 の基板との間隙には液晶層を封入し、液晶層を介して対向する第 1 の電極と第 2 の電極との交点により画素部を構成し、前記液晶層に所定の信号を印加する集積回路基板を第 1 の基板または第 2 の基板の少なくともいずれか一方の基板上に有する液晶表示パネルを備えた時計であって、前記集積回路基板には、第 1 の基板または第 2 の基板以外からの入力信号を印加する入力端子を有し、前記集積回路基板と入力端子とは入力配線と IC 入力用端子で接続し、前記入力配線の少なくとも一部は、IC 入力用端子から集積回路基板の内部へ迂回する IC 下入力配線を有し、さらに集積回路基板の外部に有する IC 外入力配線と経由して入力端子に接続することを特徴とする時計。

【請求項 2】 第 1 の電極を有する第 1 の基板と、第 2 の電極を有する第 2 の基板と、第 1 の基板と第 2 の基板は所定の間隙を設けて対向し、第 1 の基板と第 2 の基板との間隙には液晶層を封入し、液晶層を介して対向する第 1 の電極と第 2 の電極との交点により画素部を構成し、前記液晶層に所定の信号を印加する集積回路基板を第 1 の基板または第 2 の基板の少なくともいずれか一方の基板上に有する液晶表示パネルを備えた時計であって、前記第 1 の電極と第 2 の電極は、前記集積回路基板との接続を行う接続部を有し、前記第 1 の電極または第 2 電極の少なくとも一方は、接続部よりさらに集積回路基板の内側に延長する配線ブロック部を有することを特徴とする時計。

【請求項 3】 第 1 の電極を有する第 1 の基板と、第 2 の電極を有する第 2 の基板と

、第 1 の基板と第 2 の基板は所定の間隙を設けて対向し、第 1 の基板と第 2 の基板との間隙には液晶層を封入し、液晶層を介して対向する第 1 の電極と第 2 の電極との交点により画素部を構成し、前記液晶層に所定の信号を印加する集積回路基板を第 1 の基板または第 2 の基板の少なくともいずれか一方の基板上に有する液晶表示パネルを備えた時計であって、前記集積回路基板には、第 1 の基板または第 2 の基板以外からの入力信号を印加する入力端子を有し、前記集積回路基板と入力端子とは入力配線と IC 入力用端子で接続し、前記入力配線の少なくとも一部は、IC 入力用端子から集積回路基板の内部へ迂回する IC 下入力配線を有し、さらに集積回路基板の外部に有する IC 外入力配線と経由して入力端子に接続し、第 1 の電極と第 2 の電極は、前記集積回路基板との接続を行う接続部を有し、前記第 1 の電極または第 2 電極の少なくとも一方は、接続部よりさらに集積回路基板の内側に延長する配線ブロック部を有することを特徴とする時計。

【請求項 4】 前記配線ブロック部では、奇数番目の第 1 の電極と偶数番目の第 1 の電極、または奇数番目の第 2 の電極と偶数番目の第 2 の電極終端部が集積回路基板下で少なくとも 2 種類の配線ブロック部を有することを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の時計。

【請求項 5】 前記集積回路基板の一辺に第 2 の電極と接続する接続部と一部の第 1 の電極と接続する接続部とを有し、前記一部の第 1 の電極と接続する接続部を有する集積回路基板の辺と接する辺に残りの第 1 の電極と接続する接続部を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載する時計。

【請求項 6】 前記第 2 の電極と接続する接続部は、集積回路基板下にて配線ブロック部で集中し、前記第 1 の電極の接続部に隣接する第 2 の電極の接続部は、他の第 2 の電極の接続部に近接する部分に延長して配置する配線ブロック部を有することを特徴とする請求項 5 に記載する時計。

【請求項 7】 第 1 の基板または第 2 の基板以外からの入力信号を印加する入力端子と前記入力信号を発生する外部回路基板との接続は、絶縁性ゴム材に導電性粒子を有する導通部と導電性粒子を含まない非導通部とを積層してなる異方性コネクタであることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載する時計。

【請求項 8】 第 1 の基板または第 2 の基板以外からの入力信号を印加する入力端子と前記入力信号を発生する外部回路基板との接続は、絶縁性ゴム材の内部または周囲に導電性ワイヤーを有する異方性コネクタであることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載する時計。

【請求項 9】 前記集積回路基板を構成する集積回路基板の IC 出力端子を形成する面以外の面には、絶縁性を有する短絡防止層を有することを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載する時計。

【請求項 10】 前記集積回路基板を構成する集積回路基板と異方性コネクタとの間には、隔離保持部を有することを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載する時計。

【請求項 11】 前記集積回路基板と隔離保持部との間には、固着樹脂を有することを特徴とする請求項 10 に記載する時計。

【請求項 12】 前記隔離保持部は、前記第 1 の基板と前記第 2 の基板との両方の基板に接することを特徴とする請求項 10 または 11 に記載する時計。